

## I. 第2期事業計画期間の教育目標

- 文武両道の地域密着型高校の実現
  - \*塩尻市（中信地区）唯一の普通科進学校&普通科スポーツ強豪校としてのステイタスを築き、「塩尻（中信地区）の英才は都市大塩尻高が育てる」学校づくり
  - \*信州大学との日常的な高大連携をとり信大進学を実現（徹底的な信州大学入試対策）
  - \*強化部を中心に、個人競技へのサポートも厚くして、部活・個人の全国大会出場
- 先進的な首都圏教育（ICT教育等）の推進
  - \*学習システムや学校行事（企画・運営）等を導入して他校と差別化を図る。首都圏の文化を発信する学校づくり
  - \*東京都立大学との高大連携、グループ各校（小・中高）との連携
  - \*旧帝大等への進学
- グローバル教育・探究活動の充実
  - \*「国際交流センター」を設置し、留学生対応（海外語学研修、短期・長期留学）及び各プログラム（帰国子女の受入、海外大学への進学、発信型「交渉できる」英語教育）の充実
  - \*探究教育の発展（国内での調査・研究を発展させ海外の学生との活動）

## II. 本年度の施策内容（達成目標）及び具体的な取り組み内容

### ■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

#### ■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- ①本校職員及び外部講師等による全学年の放課後進学講座を開講。
- ②朝テストとテストの放課後フォロー講座を行い、学習習慣の確立を図る。テスト作成の指示は本校職員が、問題作成・採点とフォロー学習を外部委託する。
- ③学習支援センターに関する、施設管理・学習環境維持・チューター管理を外部委託し、生徒個々により深く向き合う進路指導を実践していく。
- ④探究活動の推進  
先進校の視察、研究会への参加を通して、地域連携型の探究教育を推進。連携外部機関の検索・打診、校外発表会への参加、地元地域調査の実施。

#### ■重点課題② サポート体制の充実

##### (1) 部活動の活性化

- ①部活動において専門知識を有する部活動指導者を充実させる
  - \*部員増の部活動に対する外部コーチの導入。
- ②寮運営に関連し、管理運営と規則の整備。

##### (2) 高大連携事業の充実

##### (3) 進学各種講座の積極的展開（予備校講座・思考力養成講座）

##### (4) 学習支援センター運營業務の効率化

##### (5) 生徒会活動の活性化

- ①地域ボランティア活動の実践
  - \*田川シバザクラ植栽活動（継続）
  - \*通学路花いっぱい運動（継続）
  - \*全校クリーンキャンペーン（継続）
- ②地域との交流
- ③地域行政との関わり
  - \*生徒会役員による市長への陳情活動
  - \*市役所広報課とのCM作成や企画課とのキャッチふれーずの立案協力

■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

- ①特別選抜類型の国公立大・難関私大対応授業・補習・進路指導が可能な教員を募集。
- ②共通テストを見据えた年間授業計画の策定。
- ③受験教科・小論文研修会。

■重点課題④-1 ICT を利用した教育計画

- ①オンライン・チューター指導の導入
- ②ICT 活用に向けた研究授業の実施
- ③ICT 活用のための校内ルールの見直し

■重点課題④-2 国際化計画

- ①コロナウイルス感染拡大が終息しつつある状況を鑑み、既存の国際教育活動（海外からの留学生や訪問団の受け入れ・イングリッシュシャワー・イングリッシュキャンプ・フィリピン語学研修・中国海外研修など）を継続実施する予定。
- ②Boston Harvard forum（オンライン）、ザンビア研修継続実施。
- ③オーストラリアの Mount Gravatt High School との交流、中国語講座と韓国語講座、継続実施。
- ④グローバルセンターの充実

■重点目標Ⅱ グループ間連携の進化・拡大

■重点課題① 各学校の連携強化

＊探究コースの都市大教授陣による指導の継続

1・2年では、都市大教授陣によるオンライン特別講義。3年では、都市大教授陣による本校生徒への研究指導。

＊魅力ある高大連携への検討

- ・都市大教授陣や大学生・院生との高大連携活動の検討
- ・都市大進学制度を利用した都市大への進学拡大

＊グループ内高校間連携

- ・探究合同発表会や報告会、探究的活動交流を検討。
- ・生徒会の活性化のための交流を継続し、文化祭等の活動にいかしていく。

■重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実

■重点課題① 学習環境の整備・充実

＊選択教室等の教室整備、部活動の効率化を目指し、部室の配置転換を検討。

■重点課題② 効率的業務の推進

- ＊専門的分野での外部業者委託の検討
- ＊コース再編に伴う教育課程の検討

■学校独自の重点項目 コース再編計画

- ＊魅力あるコースの再編を検討
- ＊英語教育のさらなる充実に向けた検討

■その他学校目標

学校課題① 進路指導

進学：国公立 30 名、難関私大（GMARCH10 名、日東駒専 20 名）

学校課題② 部活動の活性

高いレベルでの文武両道の実現